

氏名	今澤 正彦
よみ	いまざわ まさひこ
英字	IMAZAWA, Masahiko
プロフィール	一般家庭（医家ではない）に生まれる。地元の学区の市立小学校・市立中学校（テニス部所属）から県立旭丘高等学校普通科（軟庭（ソフトテニス）部所属）を経て名古屋大学医学部医学科（弓道部所属）を卒業し医籍登録（医師免許取得）。 市中の総合病院（大学病院ではない）での外科中心の臨床業務の後に、名古屋大学大学院医学系研究科に進学して、機能構築医学を専攻し病態制御外科学講座に所属。消化管（食道・胃・小腸・大腸）の癌などに対する外科診療を中心とした臨床・研究や学生教育に携わる一方で、分子細胞化学講座にも所属。分子生物学的な手法による食道癌に関する研究にて学位を取得。 大学院修了後、再び市中の総合病院での臨床の現場に戻り、中央手術部長、救急部長、麻酔科部長、検査科部長など、診療科の枠を超えた幅広い視野で勤務する傍ら、若手医師の勧誘・臨床研修・教育にも関与。また、医療職職員らに対する一次・二次救命処置教育に関しては、勤務先以外の医療機関等にも出向くなどの活動も重ねながら、職種横断的な院内救命処置教育プロジェクトの構築の経緯についての発表に対して岐阜県病院協会医学会から優秀演題を受賞。 こうした実務の中で医療安全を意識した医学教育への関心を深めながら、愛知学院大学歯学部を経て、現職。 趣味は、音楽の鑑賞（洋楽が中心）など。
職位	教授
最終学歴	名古屋大学大学院 医学系研究科 機能構築医学専攻（病態制御外科学）
学位	博士（医学）
所属学会・役職	日本外科学会（認定登録医）、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本外科系連合学会、日本内視鏡外科学会、日本手術医学会、日本食道学会、日本乳癌学会、日本癌治療学会、日本緩和医療学会、医療の質・安全学会、日本癌学会、日本歯科医学教育学会、東海外科学会、愛知臨床外科学会など。
専門分野	外科学
研究テーマ	医療安全、一般外科
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	【資格・免許】 医師 厚生労働省 麻酔科標榜医 日本医師会 認定産業医 【学術論文】 Imazawa M et al. <i>SI00A2</i> overexpression is frequently observed in esophageal squamous cell carcinoma. <i>Anticancer Research</i> 25(2B):1247-50. 今澤正彦 ほか. 腰背部巨大脂肪腫の1例. 愛知学院大学歯学会誌 57(3):215-219. 今澤正彦 ほか. 抗血栓剤服用中の臍径ヘルニア根治術の1例. 愛知学院大学歯学会誌 57(4):305-314. 今澤正彦 ほか. Nuck管水腫の1例. 愛知学院大学歯学会誌 58(2):41-45. 今澤正彦 ほか. COVID-19パンデミック下の一次救命処置の手順・講習会の修整対応. 愛知学院大学歯学会誌 60(1):77-81. 【学会発表（口演・示説）】 今澤正彦 ほか. 診断に難渋する胸壁膨隆の1例. 東三医学会（1996年3月）. 今澤正彦 ほか. 潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術9例の検討. 東海外科学会（2000年9月）. 今澤正彦 ほか. 食道癌術後胃管潰瘍心臓穿孔. 日本外科学会（2001年3月）. 今澤正彦 ほか. T4症例に対する手術と予後. 日本消化器外科学会（2001年7月）. 今澤正彦 ほか. 盲腸MALTリンパ腫の1例. 日本臨床外科学会（2001年9月）. 今澤正彦 ほか. 食道癌のmitochondria DNAの異常. 日本癌学会（2001年9月）. 今澤正彦 ほか. 胃切除後症例, 再建臓器合併症症例に対する再建法. 日本外科学会（2002年3月）. 今澤正彦 ほか. 直腸原発扁平上皮癌の1例. 日本臨床外科学会（2002年10月）.

今澤正彦 ほか. 大腸癌における*SOCS-1* methylation. 日本癌学会 (2002年10月) .

今澤正彦 ほか. 進行食道癌に対する放射線化学療法の効果. 日本消化器外科学会 (2003年10月) .

今澤正彦 ほか. 胃管間置又は小腸による食道再建術. 日本臨床外科学会 (2003年10月) .

今澤正彦 ほか. 食道の扁平上皮癌における*SI00A2*, $\Delta Np63$ の発現と発癌への関与. 日本外科学会 (2004年3月) .

Imazawa M. Reconstruction using a portion of jejunum revascularized by the anastomosis between the jejunal feeder and the internal thoracic artery. International Society for Diseases of the Esophagus (ISDE) (国際食道疾患会議) (Madrid, Spain) (2004年5月) .

今澤正彦 ほか. 食道癌胃癌重複症例における食道切除後再建臓器に関する検討. 日本消化器外科学会 (2004年7月) .

今澤正彦 ほか. 回腸Crohn病に虫垂粘液嚢胞を合併した1例. 日本臨床外科学会 (2004年9月) .

今澤正彦 ほか. 食道扁平上皮癌における*SI00A2*の発現. 日本癌学会 (2004年9月) .

今澤正彦 ほか. 直腸異物の1例. 東海外科学会 (2005年9月) .

今澤正彦 ほか. 心膜タンポナーデで発症した胃癌心膜再発の1例. 日本臨床外科学会 (2005年10月) .

Imazawa M et al. *SI00A2* overexpression is frequently observed in esophageal squamous cell carcinoma. International Society for Diseases of the Esophagus (ISDE) (国際食道疾患会議) (Adelaide, Australia) (2006年2月) .

今澤正彦 ほか. 婦人科領域外子宮内膜症の治療 急性虫垂炎の切除虫垂に子宮内膜症が発見された1例. 日本外科系連合学会 (2006年6月) .

今澤正彦 ほか. 肛門直腸異物の6例. 日本臨床外科学会 (2006年10月) .

今澤正彦 ほか. 同時に両側発生していることを術前に診断し得た閉鎖孔ヘルニアの1例. 日本外科系連合学会 (2007年6月) .

今澤正彦 ほか. 同時に直腸癌と胃GISTとを合併した1例. 日本外科系連合学会 (2008年5月) .

今澤正彦 ほか. 院内共通救命処置教育プロジェクトを立ち上げて. 岐阜県病院協会医学会 (優秀演題表彰) (2009年10月) .

今澤正彦 ほか. 腹壁膿瘍を形成した盲腸癌の1例. 日本外科系連合学会 (2009年5月) .

今澤正彦 ほか. 腸腰筋膿瘍の1例. 日本外科系連合学会 (2010年5月) .

今澤正彦 ほか. Nuck管水腫の1例. 日本臨床外科学会 (2019年11月) .

今澤正彦 ほか. 歯学部附属病院におけるウイルス性肝炎患者に対する抗ウイルス治療への誘導. 愛知学院大学歯学会 (2019年12月) .

【教育・社会的活動】

厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」準拠 臨床研修指導医講習会 修了

厚生労働省指定 オンライン診療研修 修了

American Heart Association (AHA) (アメリカ心臓協会) Basic Life Support (BLS) コース 修了

American Heart Association (AHA) (アメリカ心臓協会) Advanced Cardiovascular Life Support (ACLS) コース 修了

日本救急医学会 Immediate Cardiac Life Support (ICLS) コース 修了 (その後, コースディレクター認定 (2008年～2010年))

日本神経救急学会・日本救急医学会・日本臨床救急医学会 Immediate Stroke Life Support (ISLS) コース 修了

日本救急医学会・日本外傷学会・日本外傷診療研究機構 Japan Advanced Trauma Evaluation and Care (JATECTM) コース 修了

NBCR対策推進機構 医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会 修了 (特殊災害対策危機管理者1級)